

1. 部門目標

地域小児科センター、地域周産期母子医療センターの外科部門として、小児科医・新生児科医とチームを組み、地域で求められている小児外科医療を提供する。

標準的で安全かつ丁寧な手術を行う。

日本小児外科学会認定施設（教育関連施設）として、次世代の小児外科医を育成する。

2. 業務体制・スタッフ

①業務体制

予約外来を月曜午後、火曜午前、金曜午前に行っている。緊急や臨時の診療依頼には常時応需し、時間外の救急診療にも小児科・新生児科と協力して可能な限り対応している。

定時手術は木曜日に行っている。緊急手術は麻酔科と協力して対応している。

②スタッフ

令和3年度は、小原主任医長が松戸市立総合医療センターに異動となり、後任として千葉県こども病院より光永が赴任した。千葉大学医学部附属病院と東京女子医科大学八千代医療センターから非常勤医を派遣いただき、月曜午後の外来診療と定時手術の助手を務めてもらった。

名前	千葉市立海浜病院	日本小児外科学会
光永哲也	統括部長	専門医・指導医
大野幸恵	非常勤	専門医
川口雄之亮	非常勤	専門医
中谷恵理香	非常勤	研修医
吉澤比呂子	非常勤	研修医

3. 業務実績

	外来患者数	入院患者数	手術件数
令和元年度	999	70	69
令和2年度	851	50	45
令和3年度	1151	108	94

4. 1年間の総括

新型コロナウイルス感染症による影響が引き続き大きい一年であったが、院内関連各部署と協力した感染対策の工夫で診療制限を行わなかったため、外来患者数、入院患者数、手術件数ともに増加した。平成29年度から令和2年度までの診療実績により、日本小児外科学

会の施設認定（教育関連施設 B）が取得できた。

5. 今後の目標

千葉医療圏において求められる小児外科医療に応需できるよう、診療内容の一層の充実を図りたい。また学会活動や研修を通して積極的に情報を収集し、世界標準の治療が安全に行えるように研鑽を積みたい。引き続き小児外科を志す研修医に、研修の場を積極的に提供して良医を育成したい。